

	項目	質問内容	意見・提案
1	前提条件の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・最新年度の維持管理経費は、いくらか？年毎の増加傾向、幅は？ ・P3の(3)に二宮町地域防災計画の項目の中に災害時の応急対策活動の一環として耐震診断の実施とありますが、診断士は何人位いるのでしょうか。人数がすくなければ、時間も掛かるのではないのでしょうか。 ・P3の(3)二宮町地域防災計画の項目の中で、燃料の備蓄等に努めることを記載されていますが、実際にはどの程度備蓄できるものなのか？ ・全体の斜面地に建つ他の建物との関連（法務局、町施設、果樹公園） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎が44年で建替えざるを得なかったが、その原因を追究し、新庁舎建設計画に反映する。 ・災害の規模で診断士の人数は変わってくるかと思いますが、小田原市、秦野市からの応援体制や県からの応援体制も今から考えるべきかと思えます。 ・又、診断士の育成計画も必要かと思えます。 ・最小でどの位か、最大でどの位備蓄できるかは、ある程度データ化していると思いますが、問題は想定外の規模の災害にあった場合の検証をお願いしたいと思えます。
2	新庁舎整備の基本理念と基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・P11の基本理念の中の(1)町民の安全、安心な暮らしを支える拠点となる庁舎の項目の中に指令中枢機能を備えた防災、災害時の拠点と記載されています。この内容は災害時における心臓部にあたる内容です。具体的にどのような情報を収集し、分析し、そしてどのように情報を発信していくのか、明確になっているのでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、様々なシミュレーションを行い、様々な角度から問題点や課題点を取り上げ、検証していただきたいと思えます。災害時での現場では、多様なものも数多くあり、想定外のこともたくさんあるかと思えます。シミュレーションの数だけ解決策の時間などに大きな影響がでるかと思う。 ・〈聴覚障害〉 現在の町民センターも耐震性能が不足していると思われるので、新庁舎建設を機に、町民センターの機能（部屋、ホール、和室）を新庁舎に組み込むことはできないか。 ・「公共施設3原則」に基づき総床面積の縮減を原則とうたいながら、他の指標を参照にして面積が拡大している。再検証、見直しが必須と思われます。 今後の人口減少に伴う職員の減少も見通し、10年後20年後に評価される面積の設定が必要です。 今回の新庁舎は財源面から見れば不可能であり、耐震面から見たのみの建設であります。

	項目	質問内容	意見・提案
			<ul style="list-style-type: none"> ・寺院や日本家屋、古くから残る木材建築がある一方、最近の住宅は20～40年で寿命を迎えるという。現庁舎もたった40年で建替えなければならない。何十億もかけて、たった数十年しか使えないものをつくることに違和感を感じます。未来の世代に受け継いでいけるものを残すべく、そんな発想で庁舎の建築を検討して欲しい。 機能面での検討は引き続き行い、全体のデザインは知見のある人を集めて一から話しあうのはどうか。
3	新庁舎の機能(全般)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業部会ワーキングでのラジアン活用、機能分担についての結論と基本計画でのラジアンとの庁舎の独立性が矛盾している。交付金対象の区分などがあるのでしょうか。 運用面ではラジアン貸スペースなどを共同で使い効率化を図りたいものです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事が免震工事が議論になっていますが、町民負担対効果（費用対効果）の検証で過剰な対策とならないようにお願いします。 全ての機能を最新式の省エネ設備にすることを目指しているようですが、効果を明示して議論できるようにして下さい。 ・3-3、3-4、3-5については、時と共に変わっていくので、できるだけフレキシブルに対応できるように、脱自前化、内部間仕切りの自在化、民間委託等、将来の人の減、組織の変更等に柔軟に対応できる庁舎 ・環境配慮型庁舎が町民や、来訪者から見える形に。 ・建物内の各フロアの吹き抜けはだめ。（建設後、電気料（暖冷房代）が大変な高額を毎月払うことになる） ・雨水貯留を作り、各フロアのトイレの水に中水として使用する。（水道代が安くなるため）

	項目	質問内容	意見・提案
3-1	防災機能	<p>・ P15の(1)災害対応の中に地域の防災組織や関係機関との連携の確保に努めると記載されておりますが、地域とは自治会との連絡（防災委員等）においては、自助、公助、共助の考え方が、まだまだかと考えます。災害地では「近助」という言葉を強調しながら「自助」の大切さも訴えています。</p>	<p>・ 地域防災組織が形だけのものとなっていないか。改めて防災地域のあり方、考え方を自治会長を含め早急な会議を望みます。地域一人一人の防災に対する意識向上に努めていきたいものです。</p> <p>・ 丈夫で長持ち。地震で損傷がない場合、何年持つか？設計時に明らかにする。（目標）</p> <p>・ 現庁舎が、耐震などの観点で課題があり、建て替えることについては理解しています。場所もラディアンのそばにあると、使いやすいと思っています。ただし、災害時への対応とうたっておきながら、町内でも海拔が低めであり、浸水、洪水の可能性を考えると、着工前の対策が必須ではないのか？くず川の整備、建設地のかさあげ、など実現可能な観点で調査・計画できるのか。それができるなら、あの場所で進めて欲しいと思うのですが。</p> <p>・ 免震構造を予定しているのであれば、何十年も使用するので、部屋は多く作っておく。なぜなら、免震は建設後変更するのが大変である。（構造計算上の問題が必要となる）</p> <p>・ 災害対策本部と広域避難場所各地区防災拠点とのモニター（スクリーン）を使った交信機能の設置は考えていますか。</p>

	項目	質問内容	意見・提案
3-2	町民機能	<p>・P17の②情報提供機能の中に「集約」という言葉がありますが、せっかくの情報が欲しい時にすぐ分かるものでなければ意味がありません。「集約」の中から探す情報ではなく、一目見て分かりやすい、分散化されている中での集約化が必要ではないでしょうか。</p>	<p>・情報をまず、どう整理し、町民が望んでいる情報が探さなくても、即、手に入る考え方をお願いしたいと思います。</p> <p>・〈聴覚障害〉 庁舎内に電子掲示板（モニター）を設置し、災害など緊急時などに聴覚障害者に文字や画像、動画による細かい情報提供ができるようにする必要があります。そうすれば、緊急時のみだけでなく、平常時においても文字や画像、動画による情報提供ができ、町民への情報提供機能の向上を図ることができる。</p> <p>認定NPO法人障害者放送通信機構の手話や字幕による番組『目で聴くテレビ』放送を受信する機械「アイ・ドラゴン4」は、災害等緊急時に手話や字幕による情報を受信し、モニターに映すことにより、聴覚障害者に迅速に情報を提供することができる機能を有している。この「アイ・ドラゴン4」及びモニターをロビーや町民活動スペースに設置してほしい。</p> <p>庁舎内の相談室や授乳室などプライバシー保護が必要な部屋には、聴覚障害者が部屋の中にいる場合のことも考慮して、ノックの代わりに光などで知らせることができるような設備を設置する必要があると思う。</p> <p>庁舎内のエレベーターには緊急時に聴覚障害者が外部とやり取りができるように、扉への透明な窓の設置及び文字や画像で連絡できる装置の設置を行う必要があると思う。</p> <p>警報装置は、庁舎内の各部屋、廊下、トイレ等、どこにいても容易に見ることができるように設置するとともに、ランプだけでなく、放送の情報を文字で表示できるように電光文字表示装置も設置する必要があると思う。</p>

	項目	質問内容	意見・提案
			<p><視覚障害> 多目的トイレの設置をお願いしたい。 移動区域内の点字誘導ブロック及び音声誘導システムの設置をお願いしたい。 点字案内の敷設段差の軽減をお願いしたい。 障害物のない、スマートな建物にしていきたい。</p> <p><肢体不自由> シニアカーが通れるようにしてほしい。またシニアカーを置く場所を設置してほしい。 多目的トイレの設置をお願いしたい。 トイレトペーパーの設置場所を左右2カ所にしてほしい。 便座の高さ、手洗い場の高さも高低2種類のものを設置してほしい。 エレベーターはシニアカーが充分入れる広さにしてほしい。 待合室の各担当場所の椅子に高低2種類のものを設置してほしい。 駐車場(?)から玄関の入口まで屋根を設置してほしい。 段差を解消するなど、全部バリアフリーにしてほしい。 ヘルプカードをそろえておいてほしい。 受付案内場所を2か所にし、車いすを扱える人、手話ができる人、視覚障害者の誘導ができる人を配置してほしい。 点字ブロックを設置してほしい。</p> <p>・行政サービスの向上と最低限サービスの提供での町民負担(費用)の比較を明確にして最終決定をして下さい。</p> <p>・協働、交流機能(1)-① ラディアンと隣接するなら、ラディアンの持つ機能と合せて考えたい。 (イベントスペース、フリースペースなどそでにラディアンにもある) コンビニやATMなどは、そこで1日過ごす職員にとって必要であるなら構わないが、町民目線では必要なのかよくわからない。テナント料などの収益性が欲しいのか、スペースの確保を考えたら不要かとか。</p> <p>・子ども連れの来庁者の対応(3)-④ キッズスペース、授乳室は本当に必要か?これらを求める利用者は一定時間役場にいる利用者で、どれだけのニーズがあるのか?保健センター利用者へのヒアリングなど当事者の声を集めて判断するべき。設備があっても誰も使わない、なんてことにならないように。</p> <p>・公民館跡地として、届出や証明発行業務が必要。(駅に近いので)</p> <p>・軽食や喫茶スペースが取れるか検討してみてください。</p>

	項目	質問内容	意見・提案
3-3	執務機能		<ul style="list-style-type: none"> ・〈聴覚障害〉 庁舎内の各課にFAXを設置し、聴覚障害者が直接各課とFAXでやり取りができるようにしてほしい。 ・広さは一定値が必要だが、フレキシブルに。 ・働く人の動線、効率化が図られれば、一番良いかと思えますし、それを考えて頂いているものと思っています。 ・(1)職場環境 ここで働く職員の声をしっかり反映させてほしい。休憩室、打合せスペース、多目的会議室など。昼食を食べられる「菜の花」の移転は？ (2)行政機能の集約化 教育支援室「やまびこ」を集約化に組み込むのかは慎重に決めていただきたい。当事者の心情もあるだろうし、支援員の声もしっかりヒアリングしたい。 ・オープンフロアも良いが、適度に仕切りが必要。建築後の電気代が大変になる。 ・部長、課長等も一般職員と同じにし、仕切りをしないことが重要 ・OAスペースの項目で、事務書類の集約（ファイリングシステム）、キャビネットへの収納を検討して下さい。

	項目	質問内容	意見・提案
3-4	環境性能	<p>・どの位効果のあるものか、分かりませんが、特に自然エネルギー（太陽光、自然採光、自然通風）は、自然が相手。本当に長い目で見た時に、効果があるのか、再検討して欲しいと思います。A I 的に考えられるものもあるかもしれません。</p>	<p>・エネルギーは今後、A I をうまく活用していくことで、負担を軽くすることも考えられるかもしれません。 まだ、時間があるので、情報を収集し、完成度の高いものにして頂きたいと思います。</p> <p>・Z E B 化は必須だが、国や県の補助金施策をチェックし有効に使う。 (情報共有) 自前化にこだわらず、民間委託等を積極的に活用し建設費をおさえる。 省エネ設備導入にあたり、維持管理コストの削減等を検討。(C/P計算)</p> <p>・太陽光発電の初期設備投資、設備劣化などの中期ランニングコストと電気代の費用節減の比較を明確に対比して下さい。</p> <p>・Z E B + 木の庁舎 鈴廣本社ビルの視察に行って感銘を受けた。開成町の動きもある。西湘エリアの自治体は、エネルギー問題や環境課題に積極的だというエリア全体の価値を高めることにもつながる。ぜひ100年持つような、これからの社会の在り方を発信できるような視点で検討していただきたい</p>
3-5	議会機能		<p>・議会スペースはフレキシブルに。多用途に使用できるように。稼働率アップ。 I C T 化はワイヤレス。</p> <p>・特別にないが、簡素なもので、お金をかけないもの。</p>

	項目	質問内容	意見・提案
4	新庁舎の建設計画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、東日本大震災時に岩手県と福島県で工場の統括をしておりました。両県の行政において、想定外の災害で今まで積み上げてきた防止対策は、ほとんど役に立たなかったという話がほとんどです。このラディアン建設計画の考え方において、東日本大震災と同じ規模の場合、本当に大丈夫でしょうか？大丈夫であれば、その根拠を話して頂けますでしょうか ・駐車台数ですが、必要台数164台に対して計算上で153台しか確保できないが、不足台数9台はどのような方法を計画するのかお聞かせください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規模設定は現在の数値が最大で今後は削減方向なので、利用目的が変わっていくことが想定される。将来のことはわからないが、例えば、人口ビジョンで想定している2060年17000人の人口になった時をシミュレーションしてみてはどうでしょうか？ ・建設地の災害時の安全対策について。災害時に孤立してしまう場所では本末転倒。そこをしっかりと説明する必要があるのではないかと。
5	事業計画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造をRC造に考えているのか。S造（3階程度）で十分では。 ・P43(1)新庁舎建設事業費の検討について、コスト的に安くできることは、良いことと考えますが、耐震性に優れていなければなりません。町民の安全、安心を確保するということは、町民の「命」を守るということです。建設費においては、町民の「命」を守る為の新庁舎をまず頭に入れて優先順位を再度確認してください。 ※庁舎のデザインなどはシンプルが一番です。 ・概算事業費の試算の中に駐車場整備（調整池上の駐車場整備費も含む）費用は計上されていますか。 ・財源についてお聞きします（説明をお願いします）。 ・事業スケジュールが早いと思う（もう1年延ばしてもよいのでは）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・S造であるならば、建物の改修、将来の変更についても十分に自由が考えられる。 ・建設費については、全てお金が掛かります。様々な要素を組み入れることも全てお金が掛かります。要は、その中で「ムダ」「ムラ」のあるものは、省いていく「勇気」が必要です。あくまで機能や必要性、そして、町民がくつろげる空間を主に、再度、検討すべきかと考えます。 ・国や県の補助金の活用 民間委託の拡大 ・資金計画の考え方が不明確です。現状の町債残と新庁舎建設で積み上がる町債の総計の返済、一般財源からの資金計画が今後の年度ごとの町予算にどのように影響するかの検証を明示する必要があります。 ・他自治体の床単価の平均値を採用するという考え方はいかがなものか。ZEBを採用した開成町はそれだけ単価は高くなっているが、金額以上の価値がある場合もある。環境省、経産省などの各種補助金情報は積極的に入手して活用していただきたい。

	項目	質問内容	意見・提案
6	その他	<p>・ハザードマップの浸水地域での建設となりますが、この改善は葛川の洪水対策が必須です。県に対する働きかけの現状とその実現性は如何なものでしょうか。</p> <p>・今回はまだ「基本構想・基本計画（案）」の段階です。その中で「意見、提案」はなかなか難しいです。段階的にもっと具体案がでてからの検討会（今後開催する予定？）であれば、内容の濃いものになるのではないかと思います。</p> <p>・事業方式について 公設直営方式を考えているようですが、民間資金の活用や調査・計画段階からの事業提案型公募（PFI）方式の検討、そして維持管理運営までを民間事業者へ委託するなど手法の検討を考えてみる必要があると思うがいかがかお聞かせ下さい。 （又はECI方式） コンペ方式 事業費の縮減</p>	<p>・構造体は丈夫で長持ち100年を目指す。内部はフレキシブルに。ICT機器は10年寿命、エネルギー機器は20～30年。各機能ごとに寿命が違うので、トータルで効率的C/Pの高い運用ができるように計画を作る。 環境配慮型庁舎と共に、二宮町の特徴としてアピールする指標としてCO2排出量/人はどうでしょうか？ 計算の仕方は、他市町村を参考に検討。電力の使用量、ガスの使用量、灯油、ガソリンの使用量。太陽光発電量だけでは、アピール不足。</p>